

## 1. 授業の目的と概要

経済学入門 B においては、ミクロ経済学およびマクロ経済学の基礎となる経済学の考え方を中心に講義を行う。履修者が将来的に公的資格試験（国家公務員試験（経済職）、地方公務員試験、公認会計士試験、税理士試験、FP 試験、証券アナリスト試験等）を受験する可能性を考慮に入れ、講義で取り扱う内容はあくまで標準的な内容とし、特殊な内容については取り扱わない。

## 2. 学習の到達目標

主にミクロ経済学ならびにマクロ経済学の基礎的かつ標準的な考え方を習得することを学習の到達目標とする。

## 3. 授業の内容・方法と進度予定

講義はミクロ経済学のパート（前半）とマクロ経済学のパート（後半）に分かれる。

ミクロ経済学パートにおいて取り扱う内容：

- 市場における需要と供給の作用
- 需要、供給、および政府の政策
- 消費者、生産者、市場の効率性
- 経済外部性

マクロ経済学パートにおいて取り扱う内容：

- 国民所得の測定
- 物価の測定
- 生産と成長
- 貯蓄、投資と金融システム
- 総需要と総供給

## 4. 成績評価方法

期末試験（100％）による

## 5. 教科書と参考書

教科書：『マンキュー入門経済学』（グレゴリー・マンキュー著、足立他訳）、東洋経済新報社、2008年3月。

## 6. 予習と復習について

講義において扱う教科書の当該部分を事前に予習しておくことが望ましい。また、講義資料をもとに講義内容について復習しておくことが望ましい。

## 7. その他（履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）

入門科目であるため、履修の条件は設定しない。高校卒業程度の数学力があれば十分である。連絡先、オフィスアワーについては、初回講義時に指定する。